

**I 本単元で育成を目指す資質・能力**

- 話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる 【知識及び技能】(1)イ
- 自分の立場や考えが明確になるように根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる 【思考・判断・表現】① A(1)イ
- ◎資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる 【思考・判断・表現】② A(1)ウ
- 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を通じて自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする 【学びに向かう力・人間性等】

**II 系統**

	小学校第3学年 及び第4学年	小学校第5学年 及び第6学年	中学校第1学年
【知識及び技能】 話し言葉と 書き言葉	イ 相手を見て話したり聞いたりする とともに、言葉の利便や強弱、間 の取り方などに注意して話すこ と。	イ 話し言葉と書き言葉との違いに気 つくこと。	ア 音声の働きや仕組みについて、理解 を深めること。
【話すこと・ 聞くこと】	イ 相手に伝わるように、理由や事柄な どを強弱ながら、話の中心が明確にな るよう話の構成を考えること。	イ 話の内容が明確になるように、事実 と感想、意見とを区別するなど、話の 構成を考えること。	イ 自分の考えや根拠が明確になるよう に、話の中心的部分と補助的部分、 事実と意見との関係などに注意 して、話の構成を考えること。
	ウ 話の中心や話す場面を意識して、言 葉の利便や強弱、間の取り方などを工 夫すること。	ウ 資料を活用するなどして、自分の考 えが伝わるように表現を工夫するこ と。	ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の 考えがわかりやすく伝わるように表現 を工夫すること。

**IV 単元名**

京都の中学生におすすめの四万十町を巡る修学旅行プランをプレゼン  
テーションしよう ～資料や機器を用いて、旅行プランの魅力や良さが伝わり、聞き手が行  
きたいと思うような話し方の表現を工夫する～  
教材名 「説得力のある提案をしよう」（東京書籍「新しい国語2」）

**III 評価規準**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①話し言葉と書き言葉の特徴 について理解している。 【(1)イ】	①「話すこと・聞くこと」において、自分の 立場や考えが明確になるように、根拠の適 切さや論理の展開などに注意して、話の構 成を工夫している。 【A(1)イ】 ②「話すこと・聞くこと」において、資料や 機器を用いるなどして、自分の考えが分 かりやすく伝わるように工夫している。 【A(1)ウ】	①資料や機器を使用しながら積極 的に表現を工夫し、学習課題に 沿っておすすめの旅行プランを 提案しようとしている。

言語活動	学習過程	学習内容	評価規準・評価方法等	振り返り例	
おすすめの旅行プランを提案する  (ZOOMでプレゼンテーションをしよう)	題材の設定・情報の収集・内容の検討	☆ 系統を確認し、既習を活用する  1・学習のめあてやゴールイメージをつかみ、学習の見通しを持つ。(京都の中学生に高知のおすすめの修学旅行のプランをプレゼンテーションする。) ・既習を振り返るとともにプレゼンテーションのグッドモデルを示し、良いところや取り入れたいところを確認する。  教科間連携の取組 【社会科】京都府(宇治市)と高知県(四万十町)の地理や歴史、特産品などそれぞれの特色や魅力を確認する。	ここでは、学習の見通しを持ち、自分の考えを分かりやすく伝えるために資料や機器を用いて、学習課題に沿った旅行プランを提案しようとしているか。また、グッドモデルから話し言葉や書き言葉の特徴に気づき、プレゼンテーションに生かそうとしているかを確認する。	☆ 資質・能力が身に付く方向に向かっているか、最終的に身に付いたかどうかを把握する  自分が京都の中学生なら、高知県や四万十町のおいしい食べ物に興味があると思った。県外でも有名な鰹のわら焼きなどは、高知ならではのものだから取り入れたいけれど、鰹の水揚げやわら焼きの迫力って、グッドモデルみたいに写真で伝わるのかなと思った。水しぶきや音などを実際の様子が見られる資料にするためにはどうすればいいのか考えるとともに、印象づけたい言葉をパネルに書いて示すなど工夫し、高知県や四万十町に来たいと思ってもらえるプレゼンテーションを作りたいと思う。  (振り返りの視点) 新たな疑問	
	構成の検討・考えの形成・共有	2・プレゼンテーションのテーマを決め、内容を考える。 ・アンケート結果を基に、提案内容を個人で考える。	アンケート結果を基に、提案内容を個人で考える。  	ここでは、テーマに合った内容で説得力のある構成を考えているか、効果的な資料や機器の使い方を考えているかを確認する。  ☆点線の枠内は、指導に生かす評価	アンケートには、おいしいものに興味があるという声が多かった。高知県は平野なので、ナスやトマトなどのおいしい野菜や太平洋でとれた海の幸が魅力だと考えた。私は「高知の食」をテーマに、鰹のわら焼きたたきや地元食材を使った料理を私のおすすめの順番で紹介したい。小学校の時に、動画を作ったことがあるので、それなら音や迫力も伝えられ、より魅力が伝わるプレゼンテーションができると思う。  (振り返りの視点) 分かったこと
		3・各自が作った企画を持ち寄り、班で提案内容を集約して再考する。 ・聞き手のニーズを捉えて話す事柄の順序等を検討し、構成表を作成する。(伝えたいことにふさわしいテーマを付け、テーマに沿ってプランを組み立てる。)	ここでは、自分の立場や考えが明確になるように構成されているか、テーマとプランが合っているか、構成表を確認する。	班のテーマは全員一致で「食」になった。私は海の幸や野菜を使った料理を季節に関係なく入れたけれど、B君は修学旅行の時期においしい旬の食で構成していて、現実的で説得力があった。だから、私たちの班は「高知の旬の食」でプランを作り直した。京都の中学生に高知に来たいと思ってもらうためには、ニーズに合った現実的な内容にするとともに提案の順序を考えることも大切だと思った。  (振り返りの視点) 分かったこと	
	表現・共有	4・前時に作成した班の旅行プランを基に、パワーポイントを作成する。 ・互いが作成した資料やプランに対し、また話の構成や資料の内容等について、班の中でアドバイスをし合う。 ・効果的に資料や機器を用いるために構成表に加筆する。 ・発表原稿を書く。	(思考・判断・表現) ① (ワークシート・振り返り)  ここでは、聞き手のニーズを把握したうえで、根拠の適切さや話の順序を考え、旅行プラン(四万十町)の魅力が伝わるよう、プレゼンテーションの構成を工夫しているかを確認する。	最初は、おすすめの高知の旬の料理を観光客の人気順に並べていたけれど、料理だけでは初めて見て内容や魅力までは伝わりにくいという意見が出た。そこで、その食材がとれた場所や関わった人物、料理の歴史などもスライドや動画で紹介するように構成し直したことで、より魅力が伝わる説得力のあるプランになった。分かりやすく説得力のあるプレゼンテーションにするためには、聞き手の視点で考えることが必要だと思った。  (振り返りの視点) 自分の変化・成長	
		5・動画を撮って発表練習を行い、話し方や資料の提示の仕方などについて、画面越しの伝わり方を確認する。	(知識及び技能) (ワークシート・発表資料)  ここでは、話し言葉と書き言葉の特徴を理解しているかを確認する。  (思考・判断・表現) ②  ここでは、自分の考えを聞き手に分かりやすく伝えるために有効か、また、どのような資料や機器をどのように用いればよいかなどの工夫をワークシートに記入できているかを確認する。	動画を見て、話し言葉は消えるので聞き手の印象に残すための工夫が必要だと思った。伝えたいことや強調したいことは、繰り返したり間をとったりすると効果的だと思う。また、資料はポイントを絞って提示した方が印象に残るし、出すタイミングも大切だと感じた。多くの情報がある資料は指し示すなど工夫も必要だと思うので、もう一度見直したい。  (振り返りの視点) 分かったこと	
		6・互いの発表練習を聞き、話し言葉の特徴や話し方についてアドバイスや参考になるところを挙げ、全体で共有する。	(主体的に学習に取り組む態度) (プレゼンの練習動画・振り返り)  ここでは、相手意識を持ち、既習を活用するなどして表現を工夫し、学習課題に沿って説得力のある、おすすめの旅行プランを提案しようとしているかを確認する。	話し方に強弱を付けるなどの工夫をして発表できたけれど、早口になってしまった。一年で学習した、相手の反応を踏まえながら話すことが大切だということを思い出したので、本番は一方向的にならないように相手の反応や様子を見ながら、問いかけ等も入れて発表したい。  (振り返りの視点) 分かったこと	
	7・ZOOMで京都の中学生に修学旅行のプランをプレゼンテーションし、評価をしてもらう。	(思考・判断・表現) ② (発表動画・振り返り)  ここでは、資料や機器を効果的に活用して説得力のあるプレゼンテーションにできたか、どんな点を工夫したのか等、具体的な内容を振り返りに書いているかを確認する。	今日の発表では、動画を用いたことで迫力だけでなく、生産者の思いや料理ができる過程も魅力として伝えることができた。また、特に伝えたかったことは、一年の時に学習したことを生かして繰り返したり、話す前にしっかり間を取ることで強調できた。総合の発表の際などにも、今回の学習を生かしたいと思う。  (振り返りの視点) 今日の学びのつながり		

**V 単元で付けたい力(資質・能力)が身に付いた生徒の姿(具体の生徒の姿で記入)**

- ・京都の中学生に高知の修学旅行プランを提案するという相手意識・目的意識を持ち、相手に合わせた話し方を工夫して自分の思いや考えが伝わるプレゼンテーションを行っている。
- ・自分の立場を明確にして、構成や表現方法を工夫することで、京都の中学生が高知に来たいと思うような説得力のあるプレゼンテーションを行っている。
- ・高知県や四万十町の魅力をよりわかりやすく伝えるために、ICTを効果的に活用するなどの工夫をしている。
- ・友達の意見や発表をもとに、よりわかりやすく伝えられる内容を考えている。





